

# 秋田県立大学

## 『第184回森林科学セミナー』のご案内

※ 対面&オンラインで聴講できます。

秋田県立大学 森林科学研究室では、月に一度『森林科学セミナー』を行っています。

大学内外の方を講師としてお招きし、様々なトピックスについて興味深いお話をさせていただき、多数の参加者の方々と共に議論を重ねたいと思います。

「森」・「自然」に興味のある方ならどなたでも参加でき、自由に議論できる場にしたいと考えております。多数の方のご参加をお待ちしています。

日時：4月27日(月) 14:00~16:00

会場：秋田県立大学 院棟 2F M216 教室

演題：「幼虫が木材に穿孔するヒロズコガ」

「潜葉性小蛾類の多様性と潜葉習性」

演者：九州大学大学院 農学研究院

名誉教授 広渡 俊哉 さん 助教 屋宜 禎央 さん

ヒロズコガ科の幼虫は枯死植物や菌類などを食べる特殊な食性を持ち、キノコ類や衣類の害虫を含んでいる。その中で、最近、イッテンシロナガヒロズコガという種の幼虫がナラ枯れによるコナラの枯死木から見つかри、この種が含まれる亜科では世界で初めての幼生期の生態が明らかになった。さらに、本亜科の成虫はヒロズコガ科では例外的に鼓膜器官（耳）をもつが、その機能について幼虫が木材に穿孔する習性と関連して推察した。（広渡さん）

幼虫が葉に潜る潜葉性昆虫の中でも、蛾類は特に多様で様々な分類群で出現している。幼虫の生態も多様で、摂食により形成される潜孔（マイン）とそこに潜む幼虫からは、ユニークな形状や習性が観察できる。演者は、モグリチビガ科を中心に複数の科にまたがる蛾類を対象として、多様性と生態の解明を行ってきた。本講演では、現在研究を進めているブナの葉に潜るモグリチビガ科と小笠原諸島の潜葉性小蛾類について紹介する。（屋宜さん）

県立大学にて聴講、またはご自宅等でオンライン聴講のどちらでも可能です。

学外者でオンライン聴講を希望される方は下記の URL、QR コードから事前申込みをお願いします。（4/25 16:00 締切り）

※参加は無料です。

<https://forms.gle/xKcmgSnHmEuCGt8b7>



問い合わせ先：秋田県立大学 生物環境科学科 森林科学研究室

〒010-0195 秋田市下新城野

TEL：018-872-1619(木村) -1608(星崎) -1618(金)

FAX：018-872-1677

E-mail：apu\_forest.science@gmail.com

